

残席わずか

## WBS作成の技術 【オンライン録画配信+ライブ】 (4121240)

PMBOK (R) の普及に伴ってWBSという言葉は急速に広まりつつありますが、いまだにその作成は、「経験と勘」や「先輩が残したスケジュール表の見直し」といった手法に頼るしかない、という現場が数多く見られます。本セミナーは、プロジェクトを管理可能なものにするための基礎中の基礎である、WBS作成の技術を体感・体得していただくために企画いたしました。「WBS」の本当の力を、その基本原理に立ち返って改めて胎に落とし、演習を通じて体得して下さい。

|          |  |
|----------|--|
| 開催日時     | 2022年1月17日(月) 録画配信開始 (～1月27日録画配信終了)<br>2022年1月18日(火)<br>2022年1月19日(水)<br>2022年1月20日(木)<br>2022年1月21日(金)<br>2022年1月22日(土)<br>2022年1月23日(日)<br>2022年1月24日(月) 13:00～16:30ライブセミナー                                      |
| カテゴリ     | IT基盤構築・維持・管理 IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント <b>専門スキル</b>  |
| 講師       | 高橋永哲 氏<br>(株式会社プライド システム・コンサルタント )<br>2010年、株式会社プライド入社後、大手小売流通業の店舗決済システム刷新およびPCIDSS対応支援、<br>新決済サービス導入、本部システムのHOST刷新対応支援、外販対応プロジェクト支援、<br>2014年・2019年の消費税増税対応プロジェクトを支援。その後、大手エネルギー業でのデータガバナンスの支援。また、教育コースの開発と講師も担当。 |
| 参加費      | J U A S 会員/ITC : 33,800円 一般 : 43,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み)<br>【受講権利枚数1枚】  |
| 会場       | オンライン配信 (指定会場はありません)   |
| 対象       | プロジェクトの実行計画立案に携わる方。10名以上のチームを率いる立場の方。WBSについて、基礎からスケジュール化まで体系的に学ばれたい方 <b>初級</b>   |
| 開催形式     | 録画視聴・講義・グループ演習   |
| 定員       | 22名  |
| 取得ポイント   | ※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)  |
| 特記       | お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。<br>*キャンセル規定について、録画開始日を開催日といたします。   |
| ITCA認定時間 | 5.5  |

### 主な内容

#### ■受講形態

【2パート構成】

#### 1. オンライン録画視聴

※参加時のご注意について、本ページ下部にご案内いたします。お申込の前に必ずご確認ください。

録画配信期間 : 2022年1月17日～2022年1月27日

ライブセミナー開催日 : 2022年1月24日13:00～16:30

#### 2. ライブ配信 (Zoomミーティング) 【セミナーのオンライン受講について】

#### ■テキスト

録画配信日にマイページに掲載

#### 【録画配信】

録画配信された動画を視聴することで学習いただけます。〈約3時間半〉

## 【ライブセミナー】

対話型オンライン形式でライブセミナーを実施します。〈約3時間半〉

グループワークの発表、講師からのレクチャー、受講生同士の意見交換、質疑応答を行いながら、理解を深めます。

===

PMBOKの普及に伴って“WBS”という言葉は急速に広まりつつありますが、いまだにその作成は、「経験と勘」や「先輩が残したスケジュール表の見直し」といった手法に頼るしかない、という現場が数多く見られます。

WBSはもちろん、Work Breakdown Structureの略ですが、その本質はあまり理解されていません。Workとは何を指すのか、Breakdownの観点とは何か、プロジェクトを通じて保持すべきはどんなStructureなのか。

これらの概念を基礎から理解した上で適用しないと、“WBS”を作成していることにはならないのです。

本セミナーは、プロジェクトを“管理可能なものにする”ための基礎中の基礎である、“WBS作成の技術”を体感・体得していただくために企画いたしました。“WBS”の本当の力を、その基本原理に立ち返って改めて胎に落とし、演習を通じて体得して下さい。

### 〈本講座のポイント〉

- ・ WBSとは何か。WBSとスケジュール表の違い。その関係。
- ・ 「3つのWork（プロダクト、サービス、リザルト）」を構造的に分解する「2つのアプローチ」
- ・ 対象物の構造と構築の工程に基づいてWBSを展開するための基本的な考え方
- ・ テーラリングの意義：なぜテーラリングが必要なのか。テーラリングの意義と原理原則
- ・ 企業の開発標準の構造と構成の再認識。実プロジェクトへ適用（テーラリング）する際の観点
- ・ ブレークダウンの過程での構造の変化に着目した段階的詳細化と、共通部分を考慮した切り出し
- ・ WBSからワークパッケージ、アクティビティ、タスク、マイルストーンを設定する手法
- ・ 変更管理要求とその対応に基づくWBS運用の方法
- ・ 考慮すべき観点の変化に着目した、組み上げ過程での注意点

### 〈研修内容〉

（録画配信）

#### 第1章 “WBS”と“プロジェクト”

1. WBSに期待されること（一般的な事例と問題点）
2. プロジェクトマネジメントプロセスにおける“WBS”
3. “Work”とは、“Breakdown”とは、“Structure”とは
4. 標準工程とテーラリング

#### 第2章 Workのタイプと構造化（テーラリング）のアプローチ

1. 3タイプのWork
2. 5つのWBS要素
3. 「A領域：リザルト型」Workの構造化
4. 「C領域：サービス型」Workの構造化
5. 「B領域：プロダクト型」Workの構造化
6. 「横断的要素」と「プロジェクト管理型」Workの構造

#### 第3章 造の認識に基づくWBS展開

1. 唯一の構造物を定義する
2. 開発対象の構造に基づくWBS展開：WBSからワークパッケージへ
3. 段階的詳細化：構造の詳細化／作業の詳細化
4. 工程が進むごとに変化する、詳細化の着眼点

#### 第4章 WBSからスケジュールへ

1. ワークパッケージからスケジュールへ
2. 4つの見積り：工数／工期／コスト／プライス
3. 体制の検討と山積み／山崩し

（ライブ配信）

●演習1：「構造×工程」によるワークパッケージ抽出

●演習2：ワークパッケージからスケジュールへ

#### 第4章 WBSからスケジュールへ（続き）

4. マイルストーンの設定と運用

5. 変更要求への対応

まとめ. プロジェクトマネジメントの基盤としてのWBS

-----

#### <<録画配信+ライブご受講に際してのご注意>>

- ・事前に録画配信のあるライブセミナーについては、録画配信を受講された前提となっております。
- ・視聴期間内に、ご自身のマイページから【動画視聴】ボタンよりご視聴ください。
- ・視聴期間内は、何度でもご視聴いただけます。
- ・申込後に視聴環境を確認するためのテスト動画がございますので、ご確認をお願いします。
- ・ご受講に必要なPC等のハードウェアや通信環境は、ご受講者様ご自身でご用意ください。
- ・動画や画像、音声の撮影、録画、録音は一切禁止とさせていただきます。
- ・視聴期間の延長や変更、講義に関する質疑応答はお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

#### <<キャンセル規定>>

本セミナーについては、録画配信日を開催日といたします。あらかじめご了承ください。

- ・土日祝を含む開催7日前から前々日まで…参加費用の50%
- ・土日祝を含む開催日前日および開催当日（欠席）…参加費の全額

※受講権利チケット利用にてお申し込みの場合

- ・土日祝を含む開催7日前から開催当日…参加費の全額（必要枚数）